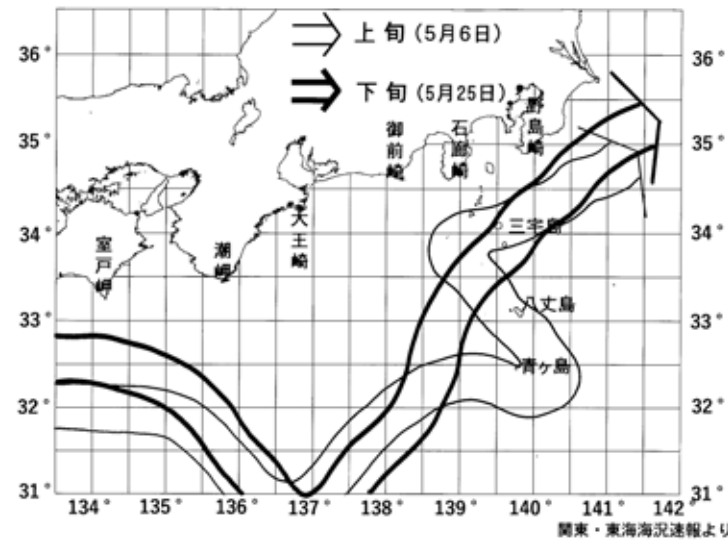


漁海況月報

令和3年5月1日

No. 5 ~5月31日

静岡県水産・海洋技術研究所
(電話 054-627-1815)
静岡県水産・海洋技術研究所 伊豆分場
(電話 0558-22-0835)



5月定地水温の旬平均値() (下段は偏差)

期間	伊東	稲取	下田	雲見	沼津	焼津
上旬	17.5	17.3	17.2	18.4	18.9	17.7
	0.5	0.7	0.3	0.6	0.7	0.2
中旬	18.6	18.3	17.8	18.9	19.7	18.6
	0.7	0.9	0.1	0.3	0.7	0.2
下旬	19.1	18.6	18.5	19.6	20.5	19.4
	0.2	0.4	0.1	0.2	0.9	0.2
月	18.4	18.1	17.9	19.0	19.7	18.6
	0.5	0.6	0.3	0.4	0.8	0.2

*地頭方の水温観測は終了しました。

【黒潮流路】

潮岬を大きく離岸した後に大王崎-遠州灘沖付近で北上し、上中旬はS字状に、下旬は直線上に伊豆諸島周辺海域を北上する流路となった。

上旬は潮岬-大王崎を大きく離岸し、大王崎沖30.5°N付近から青ヶ島-八丈島-三宅島付近をS字状に北上する流路となり、熊野灘、遠州灘沖に向けて暖水波及が見られた。

中旬は潮岬-遠州灘を大きく離岸し、遠州灘沖31°N付近から三宅島付近をS字状(上旬より緩やかな)に北上する流路となり、熊野灘、遠州灘、駿河湾沖に向けて暖水波及が見られた。

下旬は潮岬-大王崎を大きく離岸し、大王崎沖30.5°N付近から三宅島付近を直線状に北上する流路となり、熊野灘、遠州灘、駿河湾、大島西水道に向けて暖水波及が見られた。

【県下沿岸域】

上旬は下田、焼津で「平年並」、伊東、稲取、雲見、沼津で「やや高め」であった。中旬は下田、雲見、焼津で「平年並」、伊東、稲取、沼津で「やや高め」であった。下旬は沼津で「やや高め」、それ以外の地点で「平年並」であった。

【竿釣カツオ】

5月の県内主要5港(沼津、清水、焼津、小川、御前崎)における近海及び沿岸竿釣り船によるカツオの水揚げは197.9トンで前年同月(179.2トン)の1.1倍であった。魚価は228円/kgで前年同月(613円/kg)を下回った。

漁場は33-34°N、137-138°Eの伊豆諸島周辺海域などであり、御前崎港で測定した魚体サイズは、中(尾叉長55cm)を主体に、大(尾叉長58cm)、小(尾叉長49cm)などであった。

竿釣り(近海+沿岸船)カツオ水揚げ量(県内主要5港)

期間	水揚げ量(トン)	水揚げ隻数	平均水揚げ/隻(トン)	平均単価(円/kg)
R3年5月上旬	65.9	14	4.7	284
中旬	17.3	7	2.5	376
下旬	114.7	19	6.0	173
R3年5月計	197.9	40	4.9	228
R2年5月計	179.2	77	2.3	613
R1年5月計	214.5	68	3.2	346

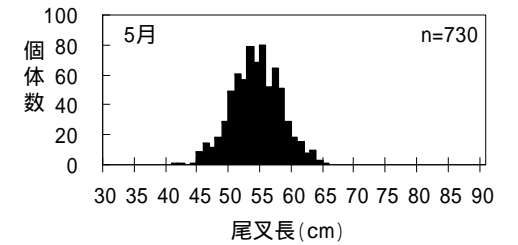


図 御前崎港で測定したカツオの尾叉長組成

【定量網】

伊豆半島東岸大型定置網7か統(伊豆山、古網、川奈、富戸、赤沢、北川、谷津)の水揚げ量は266.9トンで前年の同漁場の水揚げ量(232.7トン)の1.2倍であった。また、1か統あたりの水揚げ量は、38.1トンで前年(33.2トン)の1.2倍、平年(69.2トン)の55%であった。水揚げ量の多い漁場は、古網漁場(56.4トン、さば類、カタクチイワシ、スルメイカ)、次いで富戸漁場(50.0トン、ブリ、さば類、スルメイカ)であった。

多獲された魚種の水揚げ量は次頁(表)のとおりで、さば類は152.3トンで、前年比95%、平年比1.2倍であった。水揚げされたさば類のうち、マサバは43.1トンで、前年比1.7倍、平年比1.4倍、ゴマサバは109.2トンで、前年比81%、平年比97%であった。ブリは30.4トン、前年比12.0倍、平年比1.1倍で、銘柄わらさ主体であった。スルメイカは23.0トン、前年比1.1倍、平年比1.7倍であった。カタクチイワシは18.1トンで、前年比19.3倍、平年比46%であった。マアジは11.6トンで、前年比3.3倍、平年比9%であった。

多獲された魚種の主な漁場は、次頁(表)のとおりで、各漁場の水揚げ量の割合は、さば類では古網漁場が23%(35.3トン)、赤沢漁場が23%(35.0トン)、北川漁場が19%(28.4トン)、ブリでは富戸漁場が63%(19.0トン)、赤沢漁場が23%(7.1トン)、スルメイカでは北川漁場が43%(9.9トン)、富戸漁場が20%(4.7トン)、カタクチイワシでは古網漁場が56%(10.1トン)、伊豆山漁場が44%(8.0トン)、マアジでは伊豆山漁場が37%(4.3トン)、古網漁場が17%(2.0トン)、赤沢漁場が16%(1.8トン)を占めた。

*平年：昭和57年～令和2年の平均値

(表) 多獲された魚種の水揚量と主な漁場

魚種	水揚量(トン)	前年比	平年比	主な漁場
さば類	152.3	0.95	1.16	古網、赤沢、北川
ブリ	30.4	11.98	1.14	富戸、赤沢
スルメイカ	23.0	1.14	1.66	北川、富戸
カタクチイワシ	18.1	19.25	0.46	古網、伊豆山
マアジ	11.6	3.33	0.09	伊豆山、古網、赤沢

[サバ樺受網・たもすくい]

小川港所属の樺受網漁船は上旬は樺受網、中旬及び下旬はたもすくい主体で操業した。漁場は上旬は高瀬及び大室出し、中旬は利島及びひょうたん瀬、下旬は利島に形成された。水揚量はマサバ668トン(前年同月比11.5倍)、ゴマサバ137トン(前年同月比40.4%)であり、1隻あたり水揚量はマサバ19.7トン(前年同月比9.4倍)、ゴマサバ3.9トン(前年同月比32.2%)であった。

1kgあたり平均単価はマサバは107円で前月(95円)、前年同月(98円)共に上回った。ゴマサバは107円で前月(92円)を上回り、前年同月(112円)をやや下回った。

水揚げされたマサバの体長組成は37cmにモードを持つ単峰型、ゴマサバの体長組成は34cmにモードを持つ単峰型を示した。

小川港 さば類(樺受網・たもすくい漁業)水揚量

期間	水揚量(トン)		水揚日数	水揚隻数	水揚/隻(トン)		単価(円/kg)		漁場
	マサバ	ゴマサバ			マサバ	ゴマサバ	マサバ	ゴマサバ	
R3年5月上旬	18	24	1	2	8.8	11.8	106	47	高瀬、大室出し
中旬	288	96	6	19	15.2	5.0	112	122	利島、ひょうたん瀬
下旬	382	18	5	14	27.3	1.3	102	109	利島
R3年5月計	688	137	12	35	19.7	3.9	107	107	高瀬、大室だし、利島、ひょうたん瀬
R2年5月計	58	339	10	28	2.1	12.1	98	112	三本、ひょうたん瀬、三宅
R1年5月計	561	280	15	49	11.4	5.7	81	85	大室出し、利島、銭洲

*水揚量については、旬ごと、魚種ごとに四捨五入しているため月計と一致しないことがある。

[サクラエビ船曳網]

5月の出漁日数は10日、水揚量は88.0トンであった(前年同月の出漁日数は11日、水揚量は22.7トン)。主漁場は由比沖～興津沖、湾奥沖合であった。水揚げされたサクラエビの体長組成をは35～36mm付近にモードがあった。

サクラエビ水揚量

期間	水揚量(トン)	日数	漁場
R3年5月上旬	0.2	1	三保沖～駒越沖
5月中旬	28.7	5	湾奥沖合、用宗沖
5月下旬	59.2	4	由比沖～興津沖、湾奥沖合
R3年5月計	88.0	10	-
R2年5月計	22.7	11	沼津沖、三保沖～焼津沖、相良沖
R1年5月計	66.5	10	焼津沖～相良沖
H30年5月計	164.8	10	由比沖～興津沖

[シラス船曳網]

県内主要6港における1日1か統当りの水揚量は、駿河湾(静岡、吉田)が162kg、遠州灘(御前崎、福田、舞阪、新居)が441kgであった。平均水揚量は322kgと前年同月(328kg)の98.1%、平年同月(過去5か年平均:647kg)の49.8%であった。また、総水揚量は513.4トンで前年同月(707.3トン)の72.6%、平年同期(1,505.5トン)の34.1%と、前年同月、平年同月をともに下回った。平均単価は592円/kgと、前年同月(785円/kg)の75.4%、平年同月(673円/kg)の88.1%と、前年同月、平年同月をともに下回った。

シラス水揚量(主要6港)

漁港	水揚量(トン)	延日数	延統数	平均水揚量(kg/統)	平均単価(円/kg)
新居	51.1	11	123	416	503
舞阪	199.5	12	436	457	546
福田	122.8	11	270	454	396
御前崎	30.0	8	85	353	646
吉田	78.2	14	351	223	813
静岡	31.8	16	329	97	1,186
R3年5月計	513.4	72	1,594	322	592
R2年5月計	707.3	92	2,156	328	785
R1年5月計	1,490.2	109	2,371	629	775

*各港の数値は四捨五入しているため、各港合計と月計の値は一致しない場合がある。

*平年:過去5か年(平成28～令和2年)平均値

[まき網(いわし類)]

マイワシの水揚量は、沼津港では912.2トン(前年同月比2.1倍、平年同月比4.3倍)、小川港では266.5トン(前年同月比74.3%、平年同月比1.8倍)、伊東港、静浦港では水揚げはなかった。カタクチイワシは、沼津港では33.7トン(前年同月比57.2%、平年同月比98.3%)、小川港では19.7トン(前年同月比1.8倍、平年同月比2.3倍)、伊東港、静浦港では水揚げはなかった。

なお、伊豆半島東岸の大型定置網7か統の水揚量は、マイワシが0.3トン、カタクチイワシが18.1トンであった。

*平年:過去5か年(平成28～令和2年)平均値

[調査船駿河丸の動向]

5月6日	～	5月7日	地先定線観測調査	(2日間)
5月18日	～	5月20日	カツオ標識放流調査	(3日間)
5月24日	～	5月25日	さば類標識放流調査(ひょうたん瀬)	(2日間)
5月26日	～	5月26日	公共用水域水質測定調査	(1日間)

静岡県水産・海洋技術研究所のホームページ

パソコンからは..... <https://fish-exp.pref.shizuoka.jp/>

携帯電話からは..... <https://fish-exp.pref.shizuoka.jp/mobile/>

右のQRコードをご利用ください。人工衛星NOAAの海面水温分布画像と関東・東海海況速報を見ることができます。

